

令和5年秋の叙勲受章おめでとうございます

旭日双光章（地方自治功劳）

高橋 一博さん（前剣淵町議会議長） 東町・70 歳



1997 年（平成 9 年）12 月に剣淵町議会議員に初当選し、2021 年 12 月まで連続 6 期 24 年にわたり、地方自治の発展に多大な貢献を果たしました。

2017 年から 2021 年 12 月までの 4 年の間は、議長の任にあたり、豊富な経験と卓越したリーダーシップにより議会活動の活性化と自治発展に尽力されました。

●受章のことば

今回の受章については、ひとえに町民の皆様に支えられての受章だと思っており、大変嬉しいことと感じています。本当にありがとうございます。

この 24 年間で印象に残っている活動は数多くありますが、特に印象に残っている活動は平成 15 年の剣淵町と和寒町の合併協議会委員として活動したことです。

今後も、私自身が地域へ何ができるのかを考え、活動していきたいと思います。



▲写真は町づくり懇談会の様子です

町内の 11 自治会で町づくり懇談会を実施 ～ みなさんの声を町政へ ～

10 月 27 日、11 月 10 日、11 月 17 日の 3 日間、各自治会館及び町民センターにおいて、町づくり懇談会が行われました。

町民の皆さんから多くの農業に関することや道路、河川、住民生活に対する様々な意見を直接伺うことができました。

皆さんのご参加ありがとうございました。

芸能発表会を開催

日頃の練習の成果を存分に発揮

11 月 12 日、町民センターにおいて、第 66 回剣淵町文化祭芸能発表会が行われました。

従来の開催方法で実施するのは 4 年ぶりで、当日は、保育所きりん組や小学校、剣淵民謡連絡協議会など 19 団体 81 名の方が日ごろの練習の成果を披露し、観客を魅了していました。



早坂町長と剣淵・マツダとふれあう会が マツダ株式会社本社を訪問しました



▲毛籠勝弘代表取締役社長兼CEO(左)、早坂剣淵町長(右)

11月3日、広島県マツダ株式会社本社を、早坂町長を含む9名の訪問団が表敬訪問しました。

今回の訪問では、令和2年2月に締結の剣淵町とマツダ株式会社との包括連携協定、新型コロナウイルス感染症の影響で中止された耐寒試験場一般開放イベント、さらには広島物産展の実施について確認しました。また、毛籠勝弘氏が令和5年6月に代表取締役社長兼CEOに就任して以来、初めての意見交換が行われました。

訪問団は、剣淵町がこれまで推進してきた「絵本の里づくり」の取り組みや今後実施予定の「企業版ふるさと納税」について説明をしました。また、マツダ株式会社OBの方々ともお会いし、懇親を深めました。

早坂町長は、「コロナによって中止された取り組みを徐々に再開し、連携を一層密にしていきたいと思っています。今後もよろしくお願いします。」と述べました。

なお、今年度の耐寒試験場一般開放イベントは令和6年2月に予定されています。



剣淵高校より町にシクラメン 50 鉢を寄贈 「みる人にやすらぎと癒しを」

11月13日、応接室において、剣淵高校から町へシクラメンが寄贈されました。

町長からは、「受付窓口などへ飾らせていただきます。ありがとうございます。」と感謝の言葉が述べられました。

いただいたシクラメンは、役場庁舎内や絵本の館、町立診療所など、町内の施設に配置されます。



町内3基目のご当地ポストを設置 あべ弘士さんデザインのポストが役場前に

11月21日、役場前において、ご当地ポスト除幕式が行われました。

今回設置されたポストは、絵本作家のあべ弘士さんがデザインしたもので、剣淵郵便局前、道の駅「絵本の里けんぶち」前に続いて3基目となります。

羽田野剣淵郵便局長からは「このポストを通じてぬくもりある手紙やはがきで気持ちを届けていただきたいです。」と述べられました。

